

# FIVE VALUE ASSET

## Monthly Newsletter

### 5 バリュー通信 Vol.15

Date of issue: 2026.01.16

平素よりお世話になっております。5 バリューアセットでございます。今月もマンスリーレターとして5 バリュー通信をお届けいたします。マーケットニュースのご案内の他に、時事に関するコラムなどを月に1 回お届けいたします。お楽しみいただけますと幸いです。

#### Interview メンバーの言葉



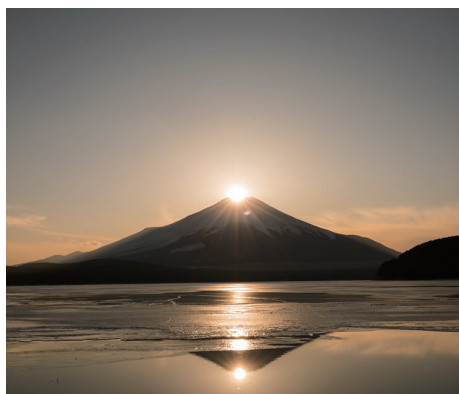
マーケティング &  
プロダクトオフィサー  
野口 智之

私は学生時代ラグビー部に所属しておりましたので、ラグビー観戦は趣味の1 つです。つい先日も高校、それから大学の決勝戦があり、いずれも非常にレベルの高い熱い戦いで大いに満喫いたしました。(いずれもテレビ観戦ですが……)

さて、ラグビーといえば「One for all , all for one」(一人はみんなの為に、みんなは一人の為に) が有名です。チームワークや相互秩序の精神を表す言葉としてよく用いられております。ただこれを、単に相互秩序を体現するだけではなく、(一人はみんなの為に、みんなは1 つの目標の為に) と解釈することも重要との意見もございます。

今月の5 バリュー通信の別項では、昨年の振り返りとして弊社社員のレビューを載せておりますが、みな申し合わせたかの様にチームワークに言及しており、まさに「One for all , all for one」を体現しているのではないかと自負しております。そして、目指すべき目標は、お客さまだと考えております。チームワークを駆使し、お客さまのベネフィットの充実に向けて努力して参る所存です。本年も引き続き宜しくお願い致します。

#### Topics 今月のトピックス



1 Jan. 2026

- Book Review
- New year's random thoughts
- 2025 Year in review



- ・ラフカディオ・ハーン『新編 日本の面影』
- ・年初雑感
- ・2025 年の振り返り (1)



ラフカディオ・ハーン『新編 日本の面影』（訳 池田雅之，2000，角川書店）

ラフカディオ・ハーン（日本名：小泉八雲）随筆家、日本研究者。ギリシャ生まれのイギリス人で、渡米し新聞記者となる。明治23(1890)年来日し、島根県の松江中学校に英語教師として赴任。同年小泉セツと結婚した。熊本五高の教師を経て、27年神戸に移り、英字新聞『神戸クロニクル』の記者となる。29年日本に帰化。同年東京帝大文科大学講師に就任し、英文学を講じ上田敏らを育てる一方、英語で日本を紹介する著作を発表した。代表的著作に古典や民間の説話に取材した『怪談』、日本人の精神を考察する『心』等がある。（国立国会図書館「近代日本人の肖像」より引用）

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）といえば、「雪女」や「耳なし芳一」「むじな（のっぺらぼう）」が広まるきっかけとなった『怪談』（1904）が代表作として知られるほか、多くの日本論も残しており、本書の原版にあたる『知られぬ日本の面影』（*Glimpses of Unfamiliar Japan*, 1894）や『神国日本』（*Japan: an Attempt at Interpretation*, 1904）などがその代表例です。

神話、迷信、民話、日本各地に残る習俗などの分析・収集を通じて、ハーンは「自然や人生を楽しく謳歌するという点でいえば、日本人の魂は、不思議と古代ギリシャ人の精神によく似ていると思う。それは誰しも認めることではないだろうか」（140-141頁）という興味深い一説を記しています。事実、自然万物に神々や精霊が宿ると考える古代ギリシャのアニミズム的な世界観は八百万信仰とよく似ており、神話に登場する神々が人間と同様の俗っぽさを備えているという点でも、両者には多くの共通点があると改めて感じさせられます。

1890年4月に横浜に降り立ったハーンは、人力車や街並に驚き、その光景を「お伽の国」と呼んだり、「イギリスの民話を聞いて育った想像力の持ち主なら、これこそが、昔夢見た妖精の国の現実だ、と錯覚してもいたし方はなかろう」（17頁）と記すほか、当時の街並に関する詳細な描写は、現代の日本人にとってもハーンのような驚きを感じさせる異国情緒が溢れる印象がありました（ある意味で、日本の「再発見」でもあります）。

「日本人にとって、文字とは生き生きとした絵なのである。表意文字は生きているのだ。それらは語りかけ、訴えてくる。そして、日本の通りの空間にはこのように呼びかけ、人のように笑ったり、顔をしかめたりする、生きた文字が溢れている」（14頁）という部分も印象的で、訳者の池田雅之さんが「ハーンは日本という恋人と恋愛状態に陥っていて、日本の全てを愛し、日本のすべてを追い求め、日本の全てを彼の胸に抱きとめようとしているかに見える」（302頁）と記すように、本書の多くの部分に日本に対するハーンの情熱が満ち溢れています。

2巻本の原著から抜粋されたエピソードが収録された『新編』の中でもうひとつ目を引いたのは「杵築——日本最古の神社」です。「杵築」は現在の出雲大社（祭神は大国主神）を指します。ハーンは外国人として初めて本殿を訪れる機会を持ち、1890年当時の宮司である千家尊紀氏に謁見を果たした際の話、紹介された装飾品、古い火鑽臼・火鑽杵で火を起こす「杵築の御神火」などについても詳細が記され、そこで披露される話の端々に、日本の古代信仰はやはり古代ギリシャを想起させる部分が多くあると思えたほか、ハーンが収集・編纂してきた様々な伝説や民話などもまた、古代信仰や巨大な自然に対する崇高の念に源流を持つと感じさせられました。

富士山の雄大さに関する言及もありますが、『新編』では島根県在住時のエピソードが中心に収録されたこともあり、加賀の潜戸（松江市北部の洞穴）や日本海に関する言及が多くあり、海で遭難した人のお墓に白い盆灯籠を吊すという漁村の風習や、海にまつわる迷信（仏海、舟幽霊、お化け除けの猫など）も豊富に取り上げられ、そういった地方や漁村の描写は近代化の先陣を切ってきた横浜と比べると、非常に牧歌的な雰囲気があります。また、住まいとしていた松江の武家屋敷の庭を例に、日本庭園の特徴や石に対する美意識、造園の哲学について論じるうちに、庭で観察できる虫や鳥といった生き物の仔細な分析へと展開する「日本の庭にて」なども、日本への情熱に支えられたハーンの観察眼と好奇心が強く表れており、日本文化の再発見を現代日本人に促してくれます。

（文：鈴木真吾）

2026 年が始まりました。厳かに、と申したいところですが、お屠蘇気分も未だ冷めやらぬ 3 日、世界に衝撃が走ります。米軍によるベネズエラへの軍事介入です。あまつさえ同国大統領夫妻を拘束し米国内に連行するという挙に出ました。暴挙といっても過言ではないでしょう。翌 4 日にはトランプ大統領は「我々にはグリーンランドが必要だ」と発言、米国の西半球での覇権を目指すいわゆるドンロー主義（トランプ版モンロー主義）を着実に実行しているように見受けられます。他方、東半球では昨年 12 月 28 日から続いているイラン国内の抗議デモが激化、本稿執筆時点で死者は 3000 人を超えているとの報道もあり、憂慮すべき事態となっています。

どうも誠に残念なことに年初早々きな臭いこと夥しく、先行きは五里霧中と言わざるを得ません。午年の株式相場格言は、（辰巳天井）午尻下がりです。辰年 24 年、巳年 25 年と世界的に株式相場が上昇してきた故、格言通り今年は調整があってもおかしくないのかも知れません。



さて、かような地政学リスク、金利（債券）にはどのような影響を与えるのでしょうか。短期的には、地政学リスクが高まった場合にはいわゆるリスクオフの流れで他のリスク資産から、比較的安全とされる債券へ資金がシフトし金利は低下します。ただその地政学リスクの只中にある当事国や周辺地域の場合は、債券といえどもリスク資産と見なされ売られる（金利は上昇）傾向にあります。もちろん例外もあり、今回ベネズエラの件では米国はまさに当事国なのですが、良い悪いは別として圧倒的に優位な立場にあるので、米国債等はリスク資産とは見なされてはいないようです。

では不幸にして地政学リスクや紛争が長引いた場合はどうでしょう。そのケースでは金利は上昇すると考えられます。1 つには防衛費増大による財政悪化懸念。直近ではドイツの例があります。同国は長年厳しい財政規律を課してきました。第一次大戦敗戦後のワイマール共和政時代のハイパーインフレのトラウマもあり、財政赤字を GDP の 0.35% 以内とする債務ブレーキを憲法で制定しています。ところが長引くロシアによるウクライナ侵攻、また NATO への関与を弱めたいトランプ大統領の意向もあり、防衛費増大を余儀なくされます。そして昨年 3 月 5 日に憲法を改正して GDP 比 1% を超える防衛費については債務ブレーキの対象外とすることにしました。この報を受け独 10 年国債は前日 2.5% 程度だった利回りが 2.8% 程度まで約 0.3% も急上昇したのです。

また、これは筆者の穿った見方かも知れませんが、昨年秋ごろから AI 関連の設備投資資金を調達するため、社債市場において超大型の起債が相次いでいます。そしてこのトレンドは今年も続くと予想されています。もちろん純粋な技術発展に伴う必要資金の調達ではあるのですが、ともすると AI 関連の設備投資競争が、米中の覇権争いの一端を担っている可能性も捨てきれません。争いを急ぐあまり、無理な大型起債（戦費調達？）がたたって社債市場がクラッシュするなんてことにならないければ良いのですが……

また紛争の長期化は、軍需産業へのシフトやサプライチェーンの混乱などにより、エネルギー、原材料の高騰、すなわちインフレが想定されます。これも金利の上昇要因となります。

年初早々、暗い見通しばかりを述べてしまいました。どうも債券畑の者は物事をネガティブに捉える癖があり、ご容赦いただきたく存じます。このような観点からも当社は常にマーケットを注視し、皆さまに必要な情報を適時にご提供してまいります。人間万事塞翁が馬、平和な 1 年をと願うばかりです。

（文：野口 智之）



当社では週例ミーティング後、勉強会の一環として5バリュー発表と題した持ち回りの発表を行っています。今回は「5バリューの観点から2025年の取り組みを振り返る」というテーマで行った発表の一部をご紹介します。



当社のフィロソフィー(5バリュー)は、独立した項目の羅列ではなく、それぞれが密接に絡み合ったものと考えています。自分自身はこの一年というよりも、常時クライアントフォーカスを念頭に置いて業務に取り組み、必要とされる情報は何か、お客様の求めに迅速に対応できるかに重きを置いておりますが一人の力では限界があるため、チームワークが重要なものになると考えます。

小さな単位ではマーケティングチームに多いに助けられており、大きな単位では会社全体・社員全員の方々の協力の結果が、クライアントフォーカスに貢献していると感じています。また、チームワークをワークさせるためにはリスペクト/個人の尊重が不可欠で、リスペクトを得るためには、誠実さや責任ある企業市民という部分が重要になり、当社のメンバーはみなそれを兼ね備えており、個人的にリスペクトしています。

(野口 智之 マーケティング&プロダクトオフィサー)

2025年はチームワークをよくするために必要な、相手を意識する行動に取り組み、相手のことを知ること、想像することで自分にどんなサポートができるかを意識して行動することに努めてきました。

まだ至らぬ点が多いですが、このような心掛けを積み重ねていきたいと思っています。同じ会社に勤めていても、仕事の進め方や感じ方は人それぞれなので、相手がどんな考えを持っているのか、どのような背景でその行動を選んでいるのかを丁寧に知ろうとすることが大切と考えています。また、ファイナンシャルアドバイザーが集中しやすい環境を整えるため、自分に何ができるかを考えることもサポートのひとつだと思いました。

(稲垣 景子 営業アシスタント)

2025年を提案内容やお客さまとのお話を中心に振り返ってみますと、当社と他社との債券ビジネスが、良い意味でどんどん乖離していった年だと感じました。お客さまから他社についてのお話を聞くと、債券ビジネスとしての鋭さや取り込み姿勢という点で当社と異なる点が多く、その相違点が乖離として広がってきているように思います。そういった環境下においても当社が独自のビジネスが進められるのは、チームワークに拠るものだと考えており、最近はそのをより強く感じております。

当社のチームワークは連携や分業といった部分に強く表れており、例えばNVIDIAの株を買うのであれば銘柄選定から発注まで一人で行う事が可能ですが、当社の債券ビジネスでは銘柄の情報を仕入れ、資料を準備し、良いプライスで引き合うという分業体制で行っています。分業内容を一人でまかなうことも可能ではありますが、その全てを完璧に行うことは難しいでしょう。当社の債券ビジネスはクオリティの面で他社と似て非なる性質を持っているため、2026年もそのビジネススタイルの乖離が縮小する可能性は低いと考えており、今後もより一層その専門性を磨いていく所存であります。

(団 いどむ エグゼクティブ・ディレクター)



5Value Asset Co., Ltd.



5バリューアセット株式会社 金融商品仲介事業者 近畿財務局長(金仲)第437号

各商品等にご投資いただく際には商品毎に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。又、各商品等には価格の変動等による損失を生じる恐れがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読みになり内容について十分にご理解ください。

この通信は、当社ホームページに掲載するほか、当社セミナーにご参加いただいた方、業務提携をいただいた方、およびIFA口座をお申し込みいただいた方に送付しております。送付の停止・送付先変更をご希望の場合は、大変お手数ですが下記のメールにご連絡ください。送付の停止・送付先変更には、少々お時間をいただく場合がございます。

発行者：5バリューアセット株式会社 クライアント・リレーション

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビル20F

newsletter@5valueasset.com